

厚生労働大臣

2013年11月12日

田村 憲久 殿

要望団体名

内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える  
特定非営利活動法人ハート・プラスの会

代表理事 白井 伸夜

## 内部障害・内臓疾患者の福祉充実と雇用促進に対する要望書

内部障害とは、身体障害に属し、心臓機能、腎臓機能、ぼうこう・直腸機能、呼吸器機能、小腸機能、HIVによる免疫機能、肝臓機能の7種類の障害をさします。内臓疾患者とは五臓六腑に重大な影響を与えながら、外見的に五体満足に見受けられるものです。

外見上その障害が目に見えないため、抱える問題が具体的に伝わりにくい状態にあります。内部障害者だけでもその総数は身体障害者の三分の一を占め、障害人口は今後も増加傾向にあります。認知度は非常に低いのが現状です。

日々苦境に瀕しながら日常生活をおくる障害者へ、幅広い救済策を講じて頂くとともに、この内容を障害者プランに盛り込んで、なお一層の充実を要望いたします。

### 記

1. 目には見えないが日常生活で周囲の理解を必要としている人がいることを広く知っていただくために、公共の場でのマーク普及による市民の方々への啓発活動と内部障害者・内臓疾患者に対する施策充実を御願い致します。
2. 医学的な治療が不可能な場合でも、社会的理解と環境整備を行うことにより、体を労り辛さを緩和することができます。  
日常生活で周囲の理解を必要としている内部障害者福祉の理解の第一歩として「ハート・プラス」マークの行政による普及と可視的な障害者主体の福祉政策を変えることを望みます。福祉関係者にも医学の知識の浸透を行い、海外ですでに認可されている薬や治療に使用される医療器具を迅速に認めてください。
3. 企業による障害者雇用が全体として障害者の比率と同等になるよう求めます。
4. 今後増加を続ける内部障害者の雇用を促進するため、体力のない内部障害者を理解した雇用環境を作り、週20時間未満の短時間労働を障害者雇用と認め雇用保険が適応されることを求めます。
5. 生活習慣病からくる腎臓病、心臓病については予防できるものもあり、予防医療の強化を要望します。

以上